

(5) 都市緑化の推進

現状と課題

本市の主要道路には植樹ますや植樹帯が設置され、路線や区域ごとに樹種を統一して街路樹が植栽されています。

街路樹は緑豊かな都市景観を提供するとともに、歩行者の安全確保などの役割があります。その一方で、植栽してから長年経過した樹木は、大木化や老朽化が進み、落ち葉の増加や倒木の可能性が高くなり、交通障害を引き起こす要因となります。

これまでの剪定を中心とした維持管理だけでは、交通障害を引き起こす要因は解消されず、さらに樹木の成長とともに維持管理のコストも増大するため、樹木の更新（植替え）が必要となります。

市内一円を花で飾る「花いっぱい運動」は、町内会や各団体などに花苗を配布し、道路の植樹ますや花壇などに植栽しています。しかし、人口減少や少子高齢化によって参加する市民が減少し、一人当たりの作業負担が多くなることが考えられます。

また、花苗の管理作業を行う人手は不足している状況にあるため、作業内容の分担や見直しが必要となります。

基本目標

- 安全な道路環境の確保に向けた街路樹の適切な維持管理を進めます
- 色彩を統一した景観づくりを進めます

指標項目	H30 年度実績値	R11 年度目標値
街路樹せん定本数	210本	→（維持）

指標項目	H30 年度実績値	R11 年度目標値
花いっぱい運動実施路線数	24路線	→（維持）

市の取組

1. 本市にあった街路樹づくり

街路樹本来の機能を損なうことのないように適正な剪定や樹木の更新（植替え）を行います。

(1) 街並みと調和のとれた剪定

街路樹の持つ機能を十分に発揮し、美しい景観を維持していくためには、輪番制による剪定を行います。また、定期的にパトロールを実施し、樹木の成長などによって通行上支障となっている枝葉は適時剪定を行います。

(2) 適切な維持管理のため樹木の伐採や植替え

長年の成長によって大木化した樹木は、風の影響を受けやすく倒木のリスクが高まるほか、剪定の頻度が高く維持管理に多くの費用を要することから、計画的に植替えを行います。また、病害虫によって立ち枯れした樹木や腐食して倒木の危険性のある樹木もについても速やかに植替えを行います。

2. 花いっぱい運動の推進と見直し

町内会などと連携し花いっぱい運動を推進するとともに、植栽基準の調整を行います。

(1) 花いっぱい運動の推進

- ① 市民との協働により花いっぱい運動を継続します。
- ② 町内会に限らず、各団体や将来を担う子供たちに向けて参加を広く呼びかけます。
- ③ 継続的な花苗の確保や配送に向けて事業者と連携を図ります。

(2) 花いっぱい運動の見直し

- ① 道路沿いの植樹ますには、色彩の統一を図りながら植栽延長を維持していきます。
- ② 植樹ますや花壇の状況を確認しながら植栽基準の調整を行います。

市民の取組

- ① 身近な街路樹の落ち葉処理に協力します。
- ② 自宅付近の植樹ますの管理に協力します。
- ③ 花いっぱい運動に協力します。



【適切に管理された街路樹】



【花いっぱい運動の様子】